＜サムライ即応監査＞米空軍と陸自 大規模災害演習で対処能力を強化（1）

USAF and JGSDF enhance response capability during mass casualty exercise in SRI

October 28, 2021

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真1）10月26日、横田基地で行われたサムライ即応監査で、模擬の大規模災害現場に到着した第374憲兵中隊パトロール隊員ケビン・ラモス軍曹。

ミサイル攻撃による車両爆発を想定したシナリオは、現実に同様の事件が発生した際の、初動対応隊員のスキルの強化を目的としている。サムライ即応監査は、運用即応能力の維持強化を図るための演習である。

1

（写真2）トリアージカードを記入する第374航空宇宙医学中隊の独立業務医療技術師（IDMT）たち。

2

（写真3）模擬の大規模災害現場に到着した陸上自衛隊第1師団第34普通科連隊の兵士。

3

＜サムライ即応監査＞米空軍と陸自 大規模災害演習で対処能力を強化（2）

USAF and JGSDF enhance response capability during mass casualty exercise in SRI

October 28, 2021

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真4）10月26日、横田基地で行われたサムライ即応監査での模擬大規模災害演習で、負傷者に応急処置をする陸上自衛隊第1師団第34普通科連隊の兵士。

4

（写真5）負傷者の応急処置をする第374憲兵中隊の隊員。

5

（写真6）模擬の負傷者を担いで運ぶ第374憲兵中隊パトロール担当ブライオン・ロビンソン空兵（右）と陸上自衛隊第1師団第34普通科連隊の兵士（左）。

6